

せいぶだより

27号 (2020 10月)

上野天神祭特集

だんじり会館

上野西部地区 令和2年8月末 人口 3,139人
世帯数 1,489 男 1,517 女 1,622人

発行 上野西部地区住民自治協議会
上野西部地区公民館
伊賀市上野福居町 ☎0595-23-9779

今年の上野天神祭の鬼・だんじりの巡行行事は中止です。
しかし 各祭町の蔵や集議所等でだんじりや鬼面等が公開
されます。ゆっくりと三密を避けて見てだーこ。

ご注意ください 本年は車両通行止めを行いません。

10月24日(土)

- * だんじり会館からだんじりの出庫 だんじり会館発 10:20
西町・鍛冶町・福居町の3基のだんじりが町に戻ります。
- * だんじりの展示 13:00~15:30頃(町により異なります)
各町内にて展示します。
- * 鬼面展 13:00~16:00
鬼町の集議所や蔵にて鬼面や装束等を見ることが出来ます。

10月25日(日)

- * だんじりの展示 10:00~16:00頃(町により異なります)
各町内にて展示します。
- * だんじり会館へのだんじりの入庫 伊賀鉄道の丸之内踏切通過 15:08~15:45
中町・新町・小玉町の3基のだんじりが入庫します。
- * 鬼面展 10:00~16:00
鬼町の集議所や蔵にて鬼面や装束を見ることが出来ます。

その他の行事

- * 令和元年の上野天神祭の写真展
場所 上野東町 うえせん白鳳プラザ
日時 10月24日(土)と10月25日(日) 10:00~15:30

コロナ対策ご協力をお願い

展示品ご見学の際には出かける前に体温の測定等の健康チェック、マスクの着用、人との間隔は出来るだけ2メートル(最低1メートル)開ける等の基本的感染対策をお願いします。

9月15日現在の情報です。

www.kinkih.com



(公社)中部圏不動産流通機構会員 知事免許第(6)2272号

株式会社 近畿不動産販売

伊賀市上野東町2922番7 ☎0120-92-7779

(広告)



の話し合い

上野天神祭の修理の費用について

しのぶ 上野天神祭のだんじり等の修理にものすごい費用がかかっていると聞いたことあるけど。

にん太 なにせ 400 年以上の歴史がある祭で今のだんじりや鬼行列のかたちが出来上がってからおおよそ 200 年が経ち、祭に使っているものは皆古くなってきている。言い換えれば修繕の時期が来ているということだよ。

しのぶ でも 1 年に 3 日ほどの祭りじゃないの。それとだんじり会館に展示していることが問題だと聞いたことがあるけど。

にん太 会館の中は乾燥している。その為昔だんじりの車輪にひび割れが生じたことがあった。また長時間幕をぶら下げることで幕の絹糸の劣化が進むとも言われている。でもユネスコに登録された祭は伊賀市の宝だ。それを祭期間外でも観光客に見てもらえることはきわめて大切で、そのためいろんな対策を取って現在は展示の悪影響の問題は解決している

しのぶ ところで修理予算の金額はどの程度なの

にん太 年間の修理予算はおおよそ大規模の修理で 600 万円、中小規模修理で 270 万円だそう。でも大規模の修理が 600 万円で済むという事ではなく実はもっとかかる場合が多いんだ。最近だんじりの幕を修理した例では 1800 万円位かかったよ。当然 3 年間の事業になってしまったよ。問題はの間次の修理は待っていなければならないことだ。

しのぶ 中小の修理の場合はどうなの。

にん太 中小の修理は数万円の物もあるので 1 つが複数年にまたがって修理することは少ないが修理の要望数がものすごく多くて要望のある分をすべて加えると 1000 万円近くになると言われている。

しのぶ 4 年分じゃないの。でも修理の費用には補助が出るでしょ。

にん太 上野天神祭は平成 28 年にユネスコ無形文化遺産に登録されたので補助率は大変優遇されて大規模も中小規模の修理もどちらもおおよそ 9 割が国県市からの補助です。(中小は市が単独で 9 割補助)

しのぶ 良かったわね。それで祭の継承はばっちりね。

にん太 いや大きな問題があるよ。修理は毎年続けなくてはならない。毎年 70~80 万円程のお金が必要で、それはずっと続く。そしてこの金額を世帯数がどんどん減っていく、高齢化していく中で 13 の祭町が負担し続けることが出来るかということなのだ。世帯の数が 20 を切った町もある。更に祭の運営費用の自己負担分もある。

しのぶ



難しい問題ね

注) 金額は全祭町での合計の数値です。

上野紺屋町 先達装束 復元新調 完成



先達（2018 年）



新調された先達の装束



9 月 1 日、上野紺屋町集議所に復元新調された『先達』の装束が納品されました。

『先達』は上野天神祭の鬼行列で役行者に続き法螺貝を吹く『山伏4体』と共に、奴に傘をさしかけられ行列します。衣装は 1957 年ころの物で、年月を経て ホツレ 破れなどの傷みが目立つ様になり、平成 30 年(2018)伊賀市文化財課の協力を得

て、上野天神祭復元修理事業等審議会の藤井健三委員の監修で、京都の専門業者にて調査打合せを行いながら進められ、当時の色彩、柄模様が機械織りで再現されました。昨年令和元年に上衣が完成。今年袴が完成納品され上下の装束がそろいましたが、今年の祭礼行列巡行は中止となり、皆様へのお披露目は来年以降になります。

福居町 水引前幕 復元新調 進行中

上野福居町のだんじり『三明』の水引幕復元新調が進められています。福居町は囃子座の 4 面を飾る「水引幕」を二種類所有され、足揃え・宵宮と神幸祭で幕を入替、出陳します。今回は足揃え・宵宮に飾られる水引幕『西園雅集図』前幕の復元新調です。この幕は 文政 8 年(1825)と伝えられ、修理を経てきましたが、傷み激しく、平成 31 年度上野天神祭復元修理事業等審議会にて、3 カ年かけての事業が決定しま

した。令和 1 年 7 月から藤井健三委員の監修で、京都の織物事業所、町方とで、分析調査に基づく製作が、進められています。幕には失われた背景を始め、豊かな表情の多くの人物が刺繍にて表現され、その再現には、慎重な審議を行いながら進められています。復元新調後は神幸祭にも使用します。もう一面の三十六歌仙の幕は傷みがかなり進んでいるので祭礼時には使わず保管することになります。



西園雅集図





令和 2年10月24・25日上野天神祭 関連展示

